

岐阜の県鳥“ライチョウ”指定60周年 & ぎふライチョウ保全研究会発足記念
岐阜県生物多様性シンポジウム

ライチョウ保全シンポジウム ライチョウの未来、 新たなステージへ

昭和40年5月10日、岐阜の県鳥に“ライチョウ”を指定。今年はそれから60年。
国の特別天然記念物に指定されてからも70年。
そして今年「ぎふライチョウ保全研究会」が発足しました。
ライチョウ会議ぎふ大会を岐阜大学で開催してから5年が経ちました。
ライチョウを取り巻く環境はまだまだ厳しく、課題も山積していますが、
絶滅山岳であった中央アルプスでの野生復帰事業も大きく進展しています。
環境省や日本動物園水族館協会等による国の保護増殖事業の現状を知り、
そして岐阜県内でのこれからの活動を考えます。
ライチョウ保全の現在と未来を一緒に考えてみませんか？

要申込
無料

日時 **10月5日** (日) 13:00 ~ 17:40頃 (受付 12:30 ~)

場所 岐阜大学応用生物科学部 101多目的ホール
(岐阜県岐阜市柳戸1-1)

内容 第1部 ライチョウの保全事業 ~生息地と動物園~
第2部 岐阜県での活動 ~調査研究紹介~
第3部 ライチョウ保全の未来

定員 100名 (先着) 申込方法 右の二次元コードからお申込みください

問合せ先 岐阜県 環境生活政策課 生物多様性係 電話 058-272-8231

申込期限
10月3日



<https://logoform.jp/form/T8mB/1178973>

主催：国立大学法人東海国立大学機構岐阜大学、岐阜県、ぎふライチョウ保全研究会

共催：岐阜大学応用生物科学部、日本野鳥の会 岐阜、公益社団法人日本山岳会岐阜支部、公益社団法人岐阜県獣医師会、野生動物救護獣医師協会岐阜県支部

後援 (予定)：環境省信越自然環境事務所、公益社団法人日本動物園水族館協会、高山市、飛騨市、下呂市

岐阜大学内協力：応用生物科学部生物圏環境学科動物保全繁殖学研究室、動物園生物学研究センター、アーカイブ・コア管理運営室、
応用生物科学部附属野生動物管理学研究センター、社会システム経営学環三井研究室、教育学部美術教育講座



ライチョウの未来、新たなステージへ

12:30 開場・受付

13:00 開会挨拶

13:10～

第1部 ライチョウの保全事業 ～生息地と動物園～

〔講演1〕復活した中央アルプスのライチョウと今後の課題

中村 浩志（中村浩志国際鳥類研究所）

〔講演2〕神の鳥“ライチョウ”を育てる動物園の飼育繁殖大作戦

秋葉 由紀（富山市ファミリーパーク）

第2部 岐阜県での活動 ～調査研究紹介～

（報告①）岐阜県でのこれまでのライチョウ調査と御嶽山の状況

福井 強志（日本野鳥の会 岐阜）

（報告②）ライチョウの山の“いま”

ー ニホンジカを中心とした哺乳類の生息状況（乗鞍・御嶽）ー

森 智基（岐阜県野生動物管理推進センター）

（報告③）動物園と連携したライチョウ繁殖推進のための生理調査

齊藤 真子（岐阜大学大学院自然科学技術研究科・大学院生）

第3部 ライチョウ保全の未来

〔講演3〕ライチョウからみる希少野生動物保全の今後

福田 真（環境省信越自然環境事務所）

（報告④）ぎふライチョウ保全研究会の設立 ～岐阜県でのこれから～

楠田 哲士（岐阜大学応用生物科学部）

17:35 閉会挨拶



会場へのアクセス

駐車場無料

ゲートが閉まっている場合は、ゲート脇のインターホンを押して、「ライチョウシンポジウムに参加」とお伝えください。

休日のため、大学生協は閉まっています。バス停前のミニストップをご利用ください。



事務局

ぎふライチョウ保全研究会

〒501-1193 岐阜県岐阜市柳戸1-1

（岐阜大学応用生物科学部 動物保全繁殖学研究室内）

問合せ先

岐阜県 環境生活政策課 生物多様性係

電話 058-272-8231

会場の岐阜大学への
アクセス

